

2018年1月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical therapy Association  
News

P

1

2018  
January  
No.274

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 今井 祐子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[29.12.1現在]

5,197名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会員ライフサポート部活動報告62報 P8▶研修会・講習会  
P9▶会長行動報告 P10▶新年を迎え P11▶information P12▶編集後記/原稿送付先

## 巻頭言



## 理学療法士として大切なもの

有限会社 訪問看護リハビリテーションネットワーク 大森 豊

平成元年に理学療法士（PT）として勤務を始め30年近い年月が経過している。新しくPTとして勤務している方々にとっては想像できない話ではないかと思うが、すでに50歳を迎え「人間五十年夢幻のごとくなり」という言葉のようにあつという間の出来事であった。多くの失敗をして、周囲の人たちの暖かさを知り、時には甘えさせてもらいながら生きてきたように感じている。

私が臨床3年目くらいの頃、法人内移動でこれまで勤務していた病院から関連病院に移動となった。その際に鼻っ柱が強かった私に対して新しい職場の上司から「お手並み拝見」という言葉が投げかけられた。一人前面をしている自分に対する警告でもあったのかもしれない。そこで謙遜するのが常識人だが、やってやろうじゃないかと考えるのが馬鹿な私である。

数人の担当患者の中に、脳動脈奇形による脳出血（左麻痺、半側空間無視などの高次脳機能障害あり）の17歳の女性Aさんがいた。気管切開を行い挿管状態であった。発症から2カ月経過していたが前任のPTによると指示も入らないし、改善は困難ではというお見立てであった。ティルトテーブルに立ち、気を抜くと自己抜管してしまう状態で気が抜けなかったのを記憶している。とはいえ、お手並み拝見状態である。装具で膝関節を伸展位で固定して汗だくになりながら、歩行練習を進めた。1カ月もすると昇降型のベットの肘の高さに設定すれば肘を使いながら右回りで回れるようになってきた。先輩からも「やり方によって変わるのだな！」と誉めていただき、私利私欲のために俄然意欲的になっていったのはいうまでもなかった。そうなる気になるのは内反尖足位で拘縮している足関節である。当時は、腱切りという手術が主であったため、脳外科医の担当医と相談の上で他院に転院して手術を行っていただくことになった。その際にAさんのお母さんから「良くなってきていますし、できれば転院し

たくないのですが、、、」との相談を受けた。機能改善というキーワードの元に説得して転院することとなった。転院の日、朝8時に病院玄関でお見送りして転院された。

日付が変わってすぐの2時頃、電話が鳴りソーシャルワーカーから「Aさんが亡くなりました。」という連絡をもらった。何が何だか判らず、次の日に自分で抜管され呼吸困難で亡くなられたことを伝えられた。事の大きさに戸惑うと共に自分の仕事の恐ろしさを実感した。私が勧めなかったら亡くならなかったかも知れないのである。お通夜に参列した際に私の顔を見るなりAさんのお母さんが号泣された。そそくさと焼香をすませて「PTを辞める」決意をした。

上司に退職の話をしようかと数日間迷っていたが、Aさんのお母さんからお手紙をいただいた。「せっかく焼香に来ていただいたのに取り乱してすみませんでした。大森さんの顔がAさんの機能が良くなる象徴でした。その顔を見ていたら感情を止めることが出来なくなりました。この数カ月、希望を与えていただいて感謝しています。これからも私たちのような困った人を助けてあげてください」というような内容であった。正直、救われたような気がした。自分がすべきことは辞めることではなく精進することではないかと思った。

治療は誰のためにするのか？ということに答えが出た気がした。患者に一生懸命係わることは自分を育て、助けることにもなるのではないかと感じた。自分は少々間違ったベクトルの基に一生懸命治療を行い図らずも大変な事になってしまった。しかしその一生懸命が自分を救ったのだと考えた。

PTとして歩み始めたみなさん、自分が苦しくなったときや判らなくなったとき、患者のためにという部分を心がけ一生懸命治療を行うこと、それはみなさんの大きな財産になると信じています。

## 活動報告

### 平成29年度研修会&交流会の報告 ～働き続けるためにコミュニケーションを見直そう！～

ライフサポート部 寺尾 詩子

会員ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第62報

働きやすい職場というのは、コミュニケーションがうまくいっている職場なのだと思います。しかし、コミュニケーションについては、どの立場の人にも悩みが少なからずあるのではないのでしょうか。そこで、今年のライフサポート部企画の研修会&交流会は、「働き続けるためにコミュニケーションを見直そう！」をテーマに、臨床心理士の中村有先生（東邦大学医療センター大橋病院 健康管理室内職員カウンセリングルーム勤務）をお招きして開催しました。交流会の時間はとれませんでした。私の場合はコミュニケーションの苦手意識は少し和らぎ、気が楽になった感じで研修を終えられました。今回は、私の中に今も残っているところを一部お伝えしたいと思います。解釈は間違っているかもしれませんが、ご了承ください。

#### ■コミュニケーションは技術である

苦手意識はありますが、才能的なことではなく、確立された手段を知り、練習・実践を積むことでコミュニケーションスキルは身につくということ。これまで経験を頼りに対応してきましたが、経験にマッチしない場合には対応できないということです。よくある困ったパターンなども交えて教えてください、わかりやすかったです。

#### ■「傾聴」技法を使ってみよう

コミュニケーションの具体的な手段として、「傾聴」技法の一部を教わりました。傾聴は患者さんの訴えなどでは自分なりに使ってきました。しかし、いざ後輩や同僚からの報告や相談に対して常に評価をし、答えを出さなければと思って負担に感じづらくなっていました。答えを出さない応え方や受け止め方も、テクニックとして知ること、安心して傾聴ができると感じました。

#### ■コミュニケーションは非言語的などころにも意識を向けて、相手を知ろうとしよう

言葉になって表れてくるもの以外のもの（視線、身振り、姿勢、表情、服装、化粧、持ち物、時間、場所など）からも多くの情報が受け取れます。また、その

人の育ちや職業などの背景によっても受け止め方は違ってきます。これまでも無意識に感じてきたところではありますが、大事なコミュニケーションの場面では意識して受け取って対応できるようにしたいです。

#### ■どう対応すればいいかわからない場合は、専門家に相談しよう

私たちがすべきところは、相手のつらさに気がつくこと。そして対応が難しいと思ったら、職場の産業医、精神科医、心療内科医、臨床心理士、精神保健福祉士に援助を求めましょう。職場にそのような場がない場合は、日本臨床心理士会に相談窓口があるそうなので利用してみましょう。

実際には具体的な事例もたくさん交えてお話下さり、わかりやすかったです。もっと、具体的に、あんな時は、こんな時はと聞いてみたいと思いました。来年も臨床心理士さんにお願ひできれば、具体的な事例をこちらからも提示して、研修会&交流会を企画したいと考えています。「聞きたい事例あります！」という方は、ライフサポート部までメールください。

●連絡先：lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

#### 復職支援実務研修の報告

ライフサポート部では、離職中の方の復職を後押しできるよう、実際の現場で研修（見学や臨床体験）する事業を行っています。2010年から始めて昨年度までで6名、今年度は現在までで2名の方が研修中です。研修のコーディネーターや研修生の体験談を通して、離職経験のない私たちには想像できなかったいろんな気づきがありました。研修をより有意義にするためには重要と感じ、昨年度まで研修を受けていた方の体験談（5名分）をまとめてみることにしました。まとめた内容は今年の関東甲信越ブロック理学療法士学会でポスターにて発表し、女性理学療法士の会の情報交換会で報告しました。ホームページにもポスター原稿を掲載しますので、興味のある方は覗いて下さい。



## ■長期離職者が復職するために、復職支援実務研修でできることのまとめ

### ●PTとして働きたいと思えること

PTとして働いていた時の自分を思い出し、目の前のPTの働く姿を見て、「またPTとして働きたい」と思えるかは重要です。知識や技術の足りないことは、働きながら補えばいいのです。現職者も常にこれではだめだと思いつつも日々精進です。ブランクが心配な方は、これまで働いていた領域での研修をお勧めします。患者さん、利用者さんと話す感じや、一緒に歩くなど何気なくやっていたようなことを体験できるだけでも、働いていた時のことを思い出してできるかも！？という気持ちになりやすいのではないのでしょうか。

### ●復職時の疑似生活

自宅を決まった時間に空けるということがどういことなのか、家族の反応や自分の体力などやってみなければわからないのです。やってみて具体的な課題が見えてくる。

### ●近隣のPTから最新情報が聞けること

とはいえ、制度や基本的な考え方も新しいものになっている部分も多いのが現状です。今どきの制度や、近隣の状況はどうなのか教えてください。PTに直接会って話ができることは、とても心強いと思います。

この研修は、受け入れてくださる施設の先生方の協力なしには成り立ちません。ご協力感謝しております。

今後も復職支援実務研修は継続していきます。復職したいけど不安という方、離職理由は問いませんので、研修受けてみませんか。また、研修の力になれるよという先生方、ライフサポート部までお声掛けください。お待ちしております。

## Facebookページのご案内

担当：ウェブサイト管理部



本会Facebookでも、情報を発信しております。

「いいね！」ボタンを押すと、本会の情報があなたのニュースフィードに届きます。

ぜひ「いいね！」ボタンを押して、情報を確認してください。



Facebookページへのアクセスは、トップページ下段のこちらからできます。



# Gift

オリジナルカーシート  
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では  
福祉用具レンタル・販売  
も取り扱っています





## 活動報告

# (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 相模原ブロック災害対策キャラバンが開催されました。

災害対策委員会 西澤 茂子

去る平成29年10月31日（火）相模原協同病院にて「平成29年度 相模原ブロック災害対策キャラバン」が開催されました。

災害対策キャラバンは災害時のリハビリテーション支援ネットワークの構築を目的に年2回開催しており、今回で8回目となる本キャラバンは相模原ブロックで開かれました。

「相模原ブロックの災害時における行政の支援体制とリハビリテーションとの連携」をテーマに、行政から新田英夫氏（相模原市危機管理局緊急対策課）、保健師の目代弥美氏（相模原市健康福祉局保健所地域保健課）、リハビリテーションの視点からは渡邊裕之氏（神奈川県理学療法士会相模原ブロック理事）に講和をいただきました。

新田氏からは相模原市における災害時の危機管理体制や地域防災計画・対策など平時からの取り組みや連携についてお話をいただきました。また熊本地震における相模原市の対応について、実際に現地支援に行かれた時の状況も含めてお話をいただきました。

目代氏からは大規模災害発災時の保健師配置や熊本地震における保健師の支援内容及び課題についてお話をいただきました。課題のお話しの中で多様な組織団体がバラバラに動いて不効率であり、課題解決のためには平時から他職種の役割（動き）を知っておくことが必要とお話しがありました。この為、多職種連携を目的とした本キャラバンの活動や理学療法士の支援活動にも期待を寄せてくださっていました。

渡邊氏より東日本大震災における日本理学療法士協会の支援体制や実際の支援活動等についてお話をいただきました。支援の中心が環境支援であったこと、環境調整は非難所の方と一緒に役割を作った等の具体的な活動内容を写真も交えてお話をいただきました。支援活動の経験がない参加者も多く、理学療法士の支援活動のイメージが広がったといった感想も聞かれました。

平日の夜の開催にも関わらず、40名以上の方にご参加いただきました。職種も理学療法士だけでなく、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師など多職種の方にご参加いただき地域関連職の災害対策への関心の高さが窺えました。

相模原ブロック長の中田裕先生、エリアコーディネーターの佐藤陽介先生、会場の提供・準備のご協力をいただいた相模原協同病院の皆様、本当にありがとうございました。また、当日の運営を手伝っていただいた他ブロックのエリアコーディネーターの皆様にも感謝申し上げます。

災害時のリハビリテーション支援ネットワークの基盤づくりの為に、今後も各ブロック・地域ごとの行政機関や保健センター等と連携を深めていきたいと考えています。より多くの皆様のご関心とご参加をお待ちしています。





## (公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 第2回災害対策本部立ち上げ演習が開催されました。

災害対策委員会 下田 栄次

去る平成29年11月20日(月)(公社)神奈川県理学療法士会事務局におきまして第2回「災害対策本部立ち上げ演習(ロジスティクス研修)」が開催されました。

昨年に引き続き、災害対策本部立ち上げ演習では、会長をはじめとする理事、事務局、ブロック災害対策担当(エリアコーディネーター)の方々を対象にご参加いただきました。講師も昨年と同様に、済生会横浜市東部病院 救命救急センター山崎 元靖氏(医師)を迎え、「平成28年熊本地震」の支援報告や「災害医療・災害支援」についてお話し頂きました。

後半はグループワークを行い、実際に災害対策本部立ち上げ訓練を行いました。より具体的な組織対応、初動対応として、神奈川県救護マップを使った災害図上訓練 DIG (Disaster Imagination Game) を実施しました。行政関連の事務局、本会事務局とOT士会、ST士会といった各士会の事務局との位置関係や本会ブロック長・エリアコーディネーターの所属先をプロットし、自分の居住する地域や住まい・職場に潜む災害の危険性を可視化していきました。次に、災害対策本部設置に必要なクロノロジー(活動記録)の作成から、クロノロジーから読み解く問題点や必要となる情報の抽出(プロブレムリスト)、周辺情報の抽出(コンタクトリスト、to doリスト)、そして現地支援チームのリスト化まで行いました。

今年度は、他職種の災害担当の方にもご参加いただき、荒川英樹医師(横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室)、西 則彦氏(神奈川県作業療法士会)、君島

恵氏(神奈川県言語聴覚士会)にも研修会にご参集いただきました。本当にありがとうございました。

また今回、正式に「かながわJRAT」が発足し、そのキックオフミーティングも行いました。今後は、各職能団体と「かながわJRAT」が、連動して神奈川県における災害支援の取り組みをしてまいります。引き続きよろしくお願いいたします。



## 活動報告

# 第35回神奈川県理学療法士学会 - プログラムと準備の進捗状況 (3)

昨年12月より第35回神奈川県理学療法士学会準備委員会を結成し、一年間かけて一つひとつ準備を進めて参りました。県士会ニュース誌上では、今回が学会開催前の最後のご報告となります。

**【開催日時】** 平成30年3月25日（日） 9：15～17：30

**【開催場所】** パシフィコ横浜 3階

### 学会テーマ

「神奈川で育む理学療法士モデル」

### 口述・ポスター発表 158演題

今回の学会では会員の皆様から158演題という多くの演題登録をいただきました。日頃の臨床経験から生まれた課題や疑問など、発表者と共に皆で考え、意見交換し、是非それぞれの現場で臨床につなげていただきたいと思います。

### その他の企画

#### 1) 県民公開講座

「トップアスリートを支える医科学サポートと身体の健康法」  
京都鞍馬口医療センター 原 邦夫先生  
サッカーの日本代表のチームドクターとしてもご活躍されている原先生より、医師の立場から様々なお話をさせていただきます。東京オリンピック・パラリンピックを控え、一般県民や関連職種の方々にとって、大変興味深いお話を伺えるものと思います。

#### 2) シンポジウム

「先輩理学療法士に聞く PTの魅力と可能性」

①多岐にわたる理学療法士モデル

②理学療法士の強みを生かして

様々な分野で活躍されている理学療法士の方々にお話し頂きます。若手理学療法士が目指すモデルとなる方や理学療法士の強みを生かし臨床業務以外の活動をされている方をシンポジストとして予定しております。若い理学療法士の方々だけでなく経験のある理学療法士の方々にとっても、刺激を受ける内容になると思います。

#### 3) 企画

「理学療法士に求められる家族アプローチ」

理学療法の対象者は、その家族全体に問題を抱えていることも少なくありません。今日、我々理学療法士は家族に対する理解も求められています。実際に臨床現場で対応に苦慮した症例を提示しながら、改めて家族に対す

る理解の重要性を考えてみたいと思います。

4) 研究支援部主催講演

5) 臨床実習教育部主催講演

6) 県士会活動紹介

県士会活動は通常行われている各部局行事、県士会ニュース等により会員に案内、周知されていることと思います。しかしながら、普段はあまり身近に感じる機会がないのではないのでしょうか。なかなか触れることのない内容が満載であり、県士会活動を知る機会になると思います。

### 事前参加登録について

学会当日、受付の円滑な運営のため、事前参加登録のご協力をお願いします。また事前登録をして頂くことで参加費が割安になります。

1) 事前登録費：2000円

2) 当日参加費：3000円

登録は協会HP内の会員専用マイページから行うことが出来ます。詳細は学会HPをご参照下さい。

尚、学会当日には、協会会員証をお持ち下さい。

### その他、事前登録が必要となるもの

1) 当日運営スタッフ

学会当日の運営にご協力いただける会員を募集いたします。

2) キッズルーム（託児所）

初めての方でも安心してご利用いただける環境です。お子様のいる方も、学会参加をあきらめることなく、キッズルームをご活用いただければと思います。

※募集期間などの詳細や申し込みは学会HPをご参照下さい。

### 最新情報は今後も随時、更新して参ります！

学会に関する最新情報は、随時更新して参ります。近日中に簡易プログラム集も皆様の手元に郵送される予定ですので、併せてご利用いただければと思います。

多くの一般県民、他職種の方々にもご参加いただける学会にしたいという思いでおります。ぜひ、身近な方々にもお声掛けいただけますよう、よろしく願いいたします。





※終了後、同会場にて事業意見交換会（レセプション）も予定されています。

<学会HP : <http://congress-kpta.jimdo.com/>>

#### 当日運営スタッフの募集に関して

今年も学会当日の運営をスムーズに行うため、当日運営スタッフを募集しております！当日運営スタッフの方には日も出る予定です。ぜひ、皆さんのお力をお貸し下さい！

※当日運営スタッフの方も学会事前参加登録が必要です。併せて登録をお願いします。

## 「キャリアデザイン対策本部」発足のお知らせ

キャリアデザイン対策本部長 佐藤 史子

キャリアデザイン対策本部は、平成29年度活動方針に示された「会員のニーズに基づいた卒後研修システムの構築」を実現するため、平成29年6月に発足いたしました。

本本部の活動方針として、会員が理学療法士として自身のキャリアデザインを考えることができるシステムとすること、評価・評価に基づいたアプローチを考えることができる内容を充実させること、現在再構築中の日本理学療法士協会の新生涯学習システムと足並みをそろえていくこととしています。

1年目の今年度は、現在本会で進行している研修会について現状把握と課題整理を、次年度は、研修会を企画・運営している部と新たなシステムの構築に向けた検討を、3年目は実施に向けた試行を行っていきたいと考えています。

会員の皆様の声を聞きつつ、渡邊裕之理事、久保雅昭理事、大槻かおる理事、内田賢一理事と共に、進めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 新生涯学習制度はじまります！

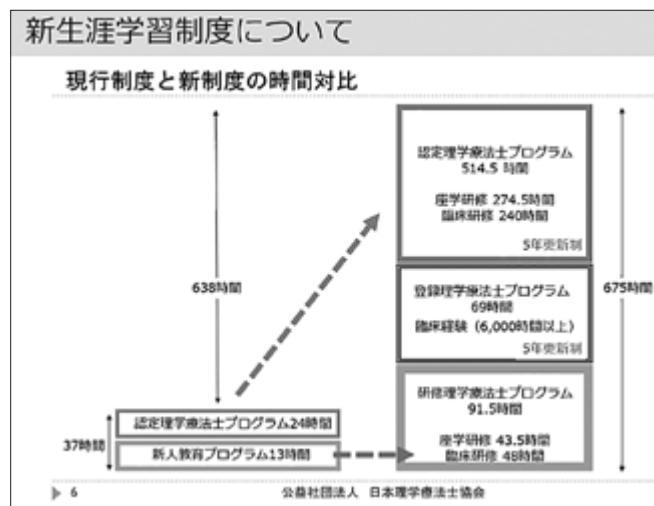
学術局 新人教育部 部長 木村 充広

既に協会ニュース等で広報されていますとおり、平成33年（2021年）4月より新生涯学習制度の運用が開始される予定です。制度の詳細決定についてはさらに時間を要することになりますが、制度の方向性や具体的な修了要件などは概ね確定しています。大幅な制度改定となりますので、会員の皆様におかれましては、協会ニュース、ホームページ等で新しい情報を確認していただき、改めてマイページの点検をお願いいたします。

#### <制度改正のポイント>

1. 研修理学療法士（現新人教育プログラムに相当）および認定理学療法士プログラムの大幅な時間増加。
2. 登録理学療法士制度の新設により実質的免許更新制を目指す。
3. 外部評価が得られる水準に進化させ、認定理学療法士制度を医療広告ガイドラインにも合致するものを目指す。
4. OJT（On the Job Training）の導入とe-Learningの積極的活用。
5. 外部評価機構の構築を進める。

新人教育部では本会会員が新制度移行に伴って不利益が生じぬよう適宜情報を発信してまいります。



# 研修会・講習会

## ●他団体

国際医療福祉大学大学院公開講座 乃木坂スクール

### # 23 「力学的視点から捉えた装具療法」

片麻痺者のリハビリテーションにおける装具と運動療法の役割を力学的視点から解説します。近年、使用が増加しているロッカー機能を補助する装具を中心に装具の機能と歩行の関係を3次元動作分析装置による動画とビデオを併用してわかりやすく解説します。臨床現場で働く理学療法士が装具の選択や調整、装具を使用した歩行練習をする際に活用できる知識を伝えることを目的としています。

開催日時：2018年2月25日(日) 10:00~16:00

会場：国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス  
(東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー5F)  
(地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線 青山一丁目駅  
3番出口から徒歩2分)

講師：山本 澄子(国際医療福祉大学大学院 教授)  
溝部 朋文(横浜市総合リハビリテーションセンター理学療法士)  
中嶋 俊祐(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター理学療法士)

司会：萩原 章由(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター理学療法士)

定員：100名

受講料：10,000円 ※本学修了生・卒業生の方は別途事務局へお問い合わせください。

お問合せ先：国際医療福祉大学大学院 東京青山キャンパス  
乃木坂スクール事務局  
〒107-0062  
東京都港区南青山1-3-3 青山一丁目タワー4F  
TEL：03-6406-8621/FAX：03-6406-8622  
E-mail：nogizaka@iuhw.ac.jp

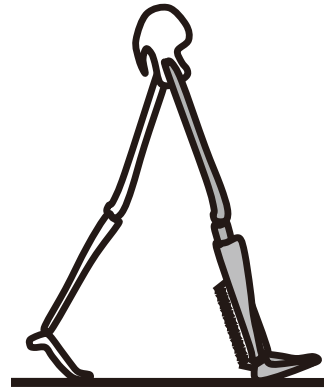
○本講習会は、公益社団法人日本理学療法士協会の専門・理学療法士制度ポイント認定講習会です。

【認定領域】神経理学療法専門分野 神経(全領域)  
生活環境支援理学療法専門分野 生活(補装具)

【認証ポイント】5ポイント

○お申し込みはホームページの申込フォームが便利です。

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/>



## 第14回神奈川内部障害リハビリテーション研究会

### がんの化学療法に対して理学療法はどうするべきか

テーマ：がんの理学療法

内容：がんの患者様に私たちが向き合う機会は多く、病態も様々で病態が悪化することも少なくありません。そのような中でがんに対してどのように向き合って理学療法を実施するか、その治療過程をどう考えるのかなど、日頃の疑問を解決する良い機会と思われますので、皆様奮ってご参加下さい。

開催日時：平成30年2月10日(土) 18:30~20:30  
(受付開始18:00~)

会場：ウィリング横浜(京浜急行/横浜市営地下鉄「上大岡駅」から徒歩3分)  
<http://www.yokohamashakyo.jp/willing/>

講師：水落 和也 先生(医師 神奈川県立がんセンター)  
黒岩 澄志 先生(理学療法士 昭和大学藤が丘病院)

定員：70名

受講料：1,000円(資料・会場費)

申込方法：参加を希望の方は、下記のメール宛てに登録をお願いします。

必要事項：1.氏名 2.所属施設 3.経験年数(すでに本会参加歴のある方は不要)

メールの題名を「第14回神奈川内部障害リハビリテーション研究会」と明記の上、送信してください。

メールアドレス：naibusyougai2011@yahoo.co.jp

申込期間：平成29年12月1日~平成30年2月7日  
(定員になり次第終了)

主催：神奈川内部障害研究会

お問合せ先：神奈川内部障害リハビリテーション研究会事務局  
(湘南鎌倉総合病院 桑島泰輔)

E-mail：naibusyougai2011@yahoo.co.jp





【触診が苦手な方限定】第6期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース  
**3ヶ月で触診とアプローチ法を習得。信頼される療法士の土台を作る。**

**テーマ：**触診を通して患者様・利用者様のリハビリをデザインできるようにする。

**内容：**1か月目 体幹編  
 2か月目 上下肢編1  
 3か月目 上下肢編2  
 それぞれ触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース・症例検討等を行います。  
 ＊詳しい内容はHPよりご確認ください。

<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

**開催日時：**第6期平成30年4月7・8日、5月5・6日、6月2・3日  
 9：30～16：30

＊日程の都合がつかない場合は別の日程へ振替も対応いたします。

**会場：**ウィリング横浜 ゆめおおおかオフィスタワー  
 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1  
 ゆめおおおかオフィスタワー内

**講師：**大塚久 理学療法士

平成27年5月療法士活性化委員会を立ち上げ、延べ1200名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。他アシスタントスタッフもサポートします。

**定員：**24名限定

(講師が一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

**受講料：**6日間で59,800円(税込)

＊テキスト代含む

＊分割でのお支払いも可能です。

**申込方法：**セミナーHPよりお願いします。

<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

**主催：**療法士活性化委員会

**お問合せ先：**療法士活性化委員会 事務局加藤まで

E-mail：lts-info@lts-seminar.jp

月	日	内容	場所
9月	6日(水)	第6回常任理事会	事務所
	9日(土)	特別支援学校理学療法士連絡会	事務所
	10日(日)	地域組織対策本部研修会	労働プラザ
	13日(水)	災害対策委員会研修会	ユニコム相模原
	23日(土)	関東甲信越ブロック協議会士会長会議	ホクト文化ホール、長野市
	24日(日)	第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会表彰式	ホクト文化ホール、長野市
	25日(月)	オリンピック・パラリンピック準備委員会	事務所
	28日(木)	第5回事業運営会議	事務所
10月	28日(木)	神奈川県医師会、新役員披露の会	ロイヤルパークホテル
	4日(水)	第7回常任理事会	事務所
	7日(土)	PT協会、理事会研修会	TKP品川カンファレンスセンター
	8日(日)	PT協会、組織運営会議	田町カンファレンスルーム
	10日(火)	神奈川県理学療法士連盟会議	本会事務所
	14日(土)	PT協会、スポーツ支援推進執行委員会レガシー小委員会	田町カンファレンスルーム
	18日(水)	神奈川県病院学会打合せ	神奈川県総合医療会館
	18日(水)	神奈川県病院医療関係団体協議会	エスカル横浜
	25日(水)	平成29年度事業中間報告	事務所
26日(木)	第6回事業運営会議	事務所	
11月	2日(木)	第7回常任理事会	事務所
	3日(金)	神奈川県リハビリテーション病院新築祝賀会	神奈川県リハビリテーション病院
	11日(土)	PT協会役員報酬研修会	田町カンファレンスルーム
	12日(日)	本会、管理者研修会	横浜市水道会館
	13日(月)	神奈川県病院学会	神奈川県総合医療会館
	14日(火)	オリンピック・パラリンピック準備委員会	事務所
	15日(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	臨床工学技士会事務所
	18日(土)	PT協会、スポーツ支援推進執行委員会	東京都士会事務所
	19日(日)	災害対策本部設置訓練	事務所
	22日(水)	泉区リハビリテーション連絡会	泉区社協
	23日(木)	会員告別式	大場斎場
	24日(金)	医療専門職連合会公開セミナー	情報文化ホール
30日(木)	第4回理事会		
12月	4日(月)	横浜西部ブロックヒヤリング	
	5日(火)	神奈川県民医療推進会議	神奈川県総合医療会館



# 新年を迎え

(公社)神奈川県理学療法士会 会長 林 克郎

新年あけましておめでとうございます。

平成30年(2018年)の幕が開けました。昨年は本会の役員改選があり、一部の理事の入れ替えと常任理事の交代がありました。6月からこれまでの間、役員、部長、委員長、部員、委員、ブロック担当関係者、事務職員の皆様の献身的な気持ちに支えられ、大きな問題なく本会の運営が進んでいることをまず報告申し上げます。この場をお借りして皆様のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、昨年の新年のご挨拶にて、平成29年のいくつかの注目点についてご報告いたしました。まず1つ目が、平成30年度の医療保険と介護保険の同時改訂に向け、しっかりとアンテナを立て会員の皆様に必要な情報をお伝えしていこうということでした。すでに、夏の段階で同時改訂の方向性について研修会を開催しましたが、今年3月にその時点で明確になっている情報についてお伝えする機会を検討中です。次に、「理学療法士及び作業療法士法」の見直し作業が始まる可能性について言及しましたが、これについては足踏みの状況でした。3つ目の「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」の改訂作業については、先の新聞報道でご存じの方が多くと思いますが、基本案は固まりつつあるようです。今後どのような卒業生が育ってくるのか、臨床に携わる理学療法士にとって新卒の臨床力や卒後の現場教育との継続性の観点からも大変気かりな変更となります。臨床実習については、実習指導者の要件が強化されるようです。臨床経験年数が3年から5年に増加し、臨床実習指導者研修の義務化が盛り込まれています。

さて、平成30年度の本会の予算編成が進んでいます。本年度も昨年度の重点事業を継続し、会員にとって県民にとってより豊かな生活環境であり就労環境となるよう事業を進めてまいります。会員のニーズに基づいた卒業研修システムの構築作業は2年目に入っていきます。(公社)日本理学療法士協会により進められている卒業研修制度の見直しに配慮しながら、会員にとって理学療法士にとって魅力ある目標や目的のわかりやすい研修システムを目指して行きます。ブロック組織の定着化と活動の推進については、ブロック長並びに関係者のご尽力により行政との関係性も少しずつ密になってきております。災害対策においては行政より講師を招いたブロックごとの勉強会が、災害対策委員会の企画の基、順調に進んでいます。また避難生活による災害関連死を減らすべく、障がい者や高齢者に対する避難所での生活支援に関する県との取り組みも始まりつつあります。

最後に、昨年会員数は5,000人を超えました。この規模に相応しい事務所機能の在り方について、本格的に抜本的に改革を進めなければなりません。多々課題を抱えながらではありますが、本会がますます会員の皆さんにとってより有益な公益法人として成長していくことを肝に銘じ、また皆さんが日々健康で充実した1年となりますようお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



## information



## 災害等による会費減免ならびに見舞金等の支給について

最近、局地的大雨等による災害が各地で多発しております。そこで、本会から会員の皆様へ会費減免・見舞金等の支給についてのお知らせについて、日本理学療法士協会会員サイトのマイページ（会員限定コンテンツ）内に申請方法等を掲載いたしました。なお、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先までご連絡ください。

【災害等による会費減免ならびに見舞金等の支給について】

[協会員の方]

マイページよりアクセスしてください。

<http://www.japanpt.or.jp/info/20170901.html>

[協会員外の方]

協会会員管理システムにログインの上、画面左のメニュー欄から「会員専用コンテンツ」をクリックいただき、「HOME」「福利厚生」より、「会費減免・見舞金等支給」をクリックしてください。

【本件お問い合わせ先】

公益社団法人日本理学療法士協会 総務課

TEL：03-6804-1421

MAIL：general@japanpt.or.jp

(公社) 日本理学療法士協会 事務局 総務課

## 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

## 楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

\*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

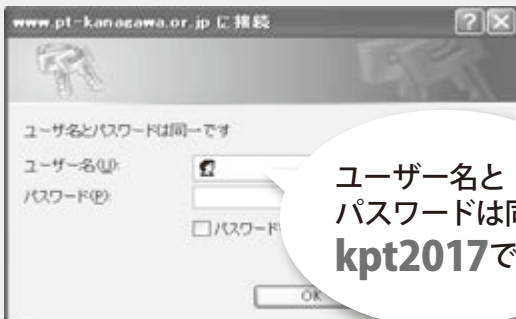
\*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局長 相川 浩一

# information



## アクセス認証のパスワードが変更になります！



本会ホームページの会員ページの認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります  
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

## 編集後記

今回の発行をもちまして、ニュース編集部の任期が終了となります。皆様のお力添えもあり、4年間無事に務めさせていただくことができました。この場をお借りして、会長行動報告を毎回執筆いただいた林会長、巻頭言をご担当いただいた先生方、印刷業務を担当いただいたポートサイド印刷の庄司秀雄様、会議等でお力添えをいただきました県士会理事の皆様および県士会事務局の皆様、ニュース編集部の仕事を温かく見守ってくださった勤務先の上司である黒澤学部長・学科長、短い編集期間にも関わらず迅速に仕事を進めてくれたニュース編集部員、ニュースを購読して下さっている会員の皆様、ニュースを楽しみにしていると言ってくれる卒業生、ニュースに携わるすべての皆様へ感謝申し上げます。

振り返ってみると、業務と両立して締め切りに間に合わせるように編集を行うことは、容易ではありませんでした。正直、弱音を吐きそうになることもありましたが、この紙面を読んでも下さっている皆さんの顔を思い浮かべながら乗り越えることができました。

末筆ながら、神奈川県理学療法士会のますますの発展を心より祈念して、文章を結ばさせていただきます。（今井）

次号の原稿締め切りは平成30年3月6日です。

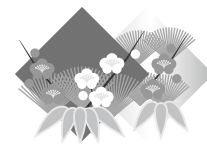
湘南医療大学 リハビリテーション学科  
理学療法学専攻（ニュース編集部宛）

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp  
〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

### ◆ニュース編集部員◆

担当理事：露木 昭彰（足柄リハビリテーションサービス）  
部長：今井 祐子（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）  
部員：金子 達也（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）  
鈴木 啓介（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部）



## あなたの生活をサポートします



## (有)木村義肢工作研究所

横浜市栄区安間三丁目40番5号 TEL045-892-5424 FAX045-894-2560  
http://www.kimura-gishi.co.jp/